

27PA-pm008

平成 15-27 年度における強壯を標榜する健康食品中の専ら医薬品成分含有調査
○最所 和宏¹, 花尻 (木倉) 瑠理¹, 袴塚 高志¹ (¹国立衛研)

【目的】近年、多くの種類の健康食品が販売され、専ら医薬品成分を無承認無許可で添加している製品により、健康被害が生じている。厚生労働省医薬・生活衛生局では、監視指導の一環として国内市場での買上げ調査を行っている他、都道府県でも独自に買上げ調査も実施しており、医薬品成分の検出される製品はかなり減少してきた。一方、インターネット (IN) 経由では、国内市場ではあまり販売されていない製品も容易に入手可能であり、それらの製品からも、ED 治療薬及び構造類似体等が検出されている。我々は、これまで全国都道府県及び IN 経由で買上げられた強壯を標榜する製品中の ED 治療薬等の定性・定量分析を行ってきた。今回、平成 15-27 年度までの都道府県買上製品及び 23-27 年度に IN 経由で入手した製品の分析結果より得られた、全年度を通じて検出された薬物の種類や製品の形状等及び年度別の検出製品数及び薬物数の推移等を報告する。

【方法】調査試料は、都道府県買上げ製品 1901 製品、IN 経由 381 製品を用いた。分析は、酸性アセトニトリル混液による抽出後 LC/PDA を用いてスクリーニングを実施し、医薬品類含有疑い製品を LC-MS によって一斉分析する方法で行った。

【結果】都道府県買上製品は、カプセル (27%)、錠 (43%)、粉末 (2%)、液体 (21%)、その他 (7%) を分析し、薬物が検出された製品の総数は 178 製品 (9%) その内訳はカプセル (63%)、錠 (30%)、粉末 (3%)、液体 (3%)、その他 (0%) であった。カプセルからは、検出された総数・割合共に多く、液体は少なかった。検出薬物総数は 209 で、ED 治療薬であるシルденаフィル (46%)、バルденаフィル (1%)、タダラフィル (16%) の割合で検出された他、シルденаフィル類似体 (23%) タダラフィル類似体 (6%) バルденаフィル類似体 (2%) その他 (5%) であった。